平成２９年度
北島中学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

① 自分の考えや意見を自分の言葉で表現する力を伸ばす指導の充実

② 学校と家庭との連携による学習習慣の確立

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取り組み状況	達成状況
よさ	全般的に落ち着いた態度で，基礎的な問題や課題に意欲的に取り組むことができる。	基礎的・基本的な事項について，繰り返し粘り強く取り組み，学習に対する興味・関心・意欲を身につける。	定期テストでの基礎的・基本的な事項の正答率８０％以上をめざす。			
		具体的方策(教員の取り組み)	**取り組み指標**			
課題	新しい課題については興味関心をもち，意欲的に取り組むことができるが，繰り返し確認していく学習で，根気強さや意欲が不十分になっていく傾向がある。	①朝学習のセミナー，自主学習などの提出物をチェックし，継続的に取り組むように指導する。 ②基礎的・基本的な内容の小テストを実施し，合格点に達しなかった者には補充学習を実施する。 ③授業はじめの目標(めあて/ねらい)を生徒に提示する。	①自主学習の提出率９０％以上を目ざす。 ②国・数・社・理・英の５教科すべてで実施を目標とする。 ③実施できた教員割合９０％以上をめざす。			

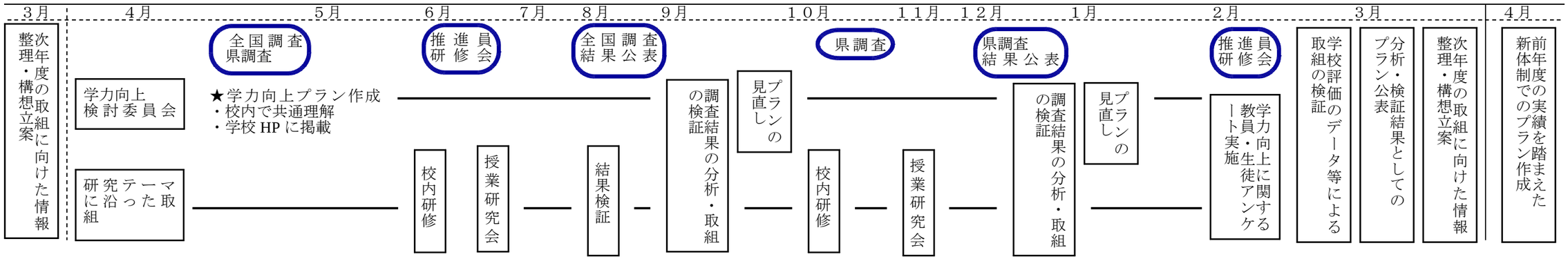
評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取り組み状況	達成状況
よさ	方法がわかっていたり，指示された内容がはっきりしていたりすることに対しては，意欲的に取り組むことができる。	自分の考えを目的や条件に応じてわかりやすく相手に伝えることができる。課題解決のために資料や情報を効果的に活用することができる。	「自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができない」と答える生徒の割合を１０％以下，「できる」と答える生徒の割合を５０％以上にする。			
		具体的方策(教員の取り組み)	**取り組み指標**			
課題	答えがわかっていても意見を言うことや，自分の考えを表現することが苦手な生徒が多い。自主的に表現していけるよう工夫が必要である。	授業の中で考えさせる場や自分の考えや意見を表現させる場をあらゆる機会を捉えて設け，言語活動の充実を図る。教科部会を中心に，研究授業や相互授業参観を行い，生徒が主体的に取り組む授業展開を推進する。	それぞれの教員が，少なくとも年１回は研究授業や相互授業参観で授業を公開し，授業力向上に努める。			

評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取り組み状況	達成状況
よさ	与えられた課題については，ほとんどの生徒が真面目に根気強く取り組み，提出することができる。	①自らの計画のもと，家庭学習に意欲的に取り組むことができる。 ②礼儀正しい元気のよいあいさつができる。 ③清掃活動に意欲的に取り組むことができる。	①家庭学習を毎日１時間以上できた生徒の割合を８０％以上にする。 ②③あいさつや清掃活動がきちんとできたと答える生徒の割合を８０％以上にする。			
		具体的方策(教員の取り組み)	**取り組み指標**			
課題	①家庭学習が十分に定着していない傾向がある。 ②日常的なあいさつができていない生徒がみられる。	①各教科で課題を出し，家庭学習の充実を図る。 ②生徒が自ら作成した学習計画のもと，テスト勉強に取り組む習慣づけを行う。 ③あいさつや清掃指導を重点的に行う。	①国数社理英の５教科は，それぞれ週に２時間程度の課題を出す。 ②テスト勉強計画表をもとに，生徒に助言を与え，三者面談時に生徒の学習状況についての話し合いを行う。 ③は日常的に指導を行う。 ①②③とも，きちんと指導できた割合を９０％以上にする。			

評価	次年度における改善事項